

抗原特異的 IgE を介した肥満細胞の活性化は、アレルギー性鼻炎をはじめとしたアレルギー疾患における即時型反応の誘導に重要な役割を果たすことが知られている。しかし、鼻炎症状の引き金としては IgE 以外の関与も考えられ、また様々なアレルギー様症状を示す患者の中には抗原特異的 IgE がまったく検出されない場合も存在することが知られている。我々は抗原に含まれるエンドトキシンがこのような IgE 非依存性アレルギー様症状を誘導していることを見出した。マウスに卵白アルブミン (OVA) を免疫後、OVA を点鼻することで鼻炎症状が誘発できる。このとき、エンドトキシンを含まない OVA は IgE 受容体である  $Fc\epsilon RI$  を欠損したマウスでは鼻炎症状を誘発できなかったのに対して、エンドトキシンを含む OVA は  $Fc\epsilon RI$  欠損マウスでも野生型マウスと同等に鼻炎症状を誘導した。我々は OVA 特異的 Th2 細胞を移入するモデルを用いて本鼻炎症状の誘導機構の詳細を検討し、本鼻炎反応には鼻局所での Th2 細胞の活性化が必須であるが、鼻炎症状を惹起する引き金はエンドトキシンであることを見出した。さらに本反応には肥満細胞・好塩基球が関与せず、単球・マクロファージが関与する全く新しい I 型過敏症様症状であることを明らかにした。

アレルギー疾患における即時型反応の新規誘導機構

